

佐賀県小城市地域おこし協力隊 募集要項

—60 歳以上歓迎♪地方でのんびり、
「健康カフェ」で元気を育む保健師の仕事をしたい人募集—

こんにちは！

こちらは佐賀県の中央部、九州を代表する名山のひとつ天山と、日本最大の干潟として知られる有明海に囲まれたまち佐賀県小城市です。時に「小京都」とも表現される歴史情緒ゆたかなこの地域より、地域おこし協力隊の募集をさせていただきます。今回ご紹介するのは『地方でのんびり「健康カフェ」で元気を育む保健師さん』の仕事です。業務内容は、健康に対しての相談や交流会を行う「健康カフェ」の実施をはじめ、小城市が配信する LINE や市報、ホームページで情報発信など、地域に出向いて “健康づくり” の大切さをお届けすることです。業務を通じて小城市の方々に「健康」に興味関心を持ってもらい、自発的に「健康づくり」に取り組んでもらえるような “健康づくり仕掛け人” を募集します！

- ・「保健師」としての知識や経験をカタチにしたい人
- ・人とコミュニケーションをとるのが得意な人
- ・好奇心旺盛な人
- ・食文化をはじめとした地域性の違いを発見できる人
- ・小城市が前から気になっていた人
- ・地方暮らしに興味がある人

上のいずれかに該当する方、是非ご一読、ご検討お願いします！

！ミッション：小城市の皆さんの健康を守りたい！

山、平野、海と場所によってさまざまな食文化を持つ小城市。

全国名水百選に選ばれた清水川の清流で育った鯉をつかった鯉料理「鯉のあらい（お刺身）」や「鯉こく（お味噌汁）」をはじめ、「長崎街道シュガーロード」の名残から歴史ある銘菓として知られる「小城羊羹」に、みかん、ブドウ、棚田米、レンコン、アスパラなど様々な農作物でも知られています。

そんな小城市ですが、深刻視されているものの一つに「生活習慣病」があります。全国的にも問題となっている生活習慣病ですが、佐賀県もまた県を挙げて改善に取り組むまでの大きな健康課題となっています。

自分自身では健康だと思っていっても、数値で見ると病院の受診が必要な場合もあるのが生活習慣病。

現在、小城市健康福祉課では、住民の方々への定期健診のお知らせや講演会の企画・運営のほかにも、住民の健診結果のデータ化、健診結果がすぐわかない方への自宅訪問を行っています。

限られた人数での自宅訪問やイベント企画といった限度があり、そういった点から、生活習慣病をはじめとした様々な病気の予防や健康に興味関心を持ってもらうといった “健康づくりへの第一歩” の裾野を広げることができていないことが現状です。

そんな業務に追われる日々でも、定期健診や家庭訪問などで、何度も住民の方々と顔を合わせたことによって生まれたつながりや「健康」に対する心の変化を垣間見ることが、職員にとってやりがいを感じられ、とても嬉しいことと言います。

「あなたが言うから、病院に行くことに決めたよ」「早く教えてくれたから、大事にならなかった、ありがとう」そんな声を聞くこともあり、もはや住民の皆さんは家族のような大切な存在になっているそう。

生活習慣病になってしまうその前に、住民の皆さんに健康に関心を持ってほしい、自発的に「健康づくり」に取り組んでほしい、そんな思いから今回地域おこし協力隊を募集することになりました。

2：具体的な仕事内容 小城市だから叶う「保健師」の仕事

今回の小城市の地域おこし協力隊では、住民の方々へ健康や身体について意識を向けた取り組みをしてほしい、小城市で「保健師」として活動、活躍してほしいことから、次のような業務を行ってもらいます。

① メイン業務「健康カフェ」の企画運営

「健康」をテーマにした相談や交流会、イベントの企画運営をしてもらいます。

最初は公民館や保健センターといった公共施設から、そこからカフェや企業といった小城市全体をフィールドに変えて、週に2回を目標に実践。

「健康」に関心がない方たちへアプローチをして、検診受診率の向上や、住民自身が健康に向けて活動しているという実感を持ってもらうことを目指します。

② “健康づくり”の情報発信

①の「健康カフェ」の開催のお知らせから、“健康づくり”に関する情報を小城市の公式LINEや市報、ホームページで配信します。

③ 各ミッションに関連する業務の実施

健康福祉課が行うウォーキングイベントへの参加や、地域に出向いて行う健康づくりに関する催しのお手伝いなどをしてもらいます。

④ 健康福祉課内でのミーティング等

健康福祉課の職員や地域おこし協力隊伴走支援員との定期的なミーティングをし、業務の進捗状況や、困りごとなどを共有してもらいます。また、次回イベントの企画や健康カフェなどを開催した際の実績報告書を作成します。小城市は地域おこし協力隊が複数人いますので、年に1回、全体で活動報告会を実施しています。1年間頑張っ取り組んだ内容を発表してください。

これらを実践していくには、初めに小城市という地域を知り、地域になじむことが大切です。まずは健康福祉課職員と一緒に集会でのあいさつや交流の場を設け、住民の方々とつながりを深めていき、自信が付いたら自走してもらいます。ですので、始めの一步を踏み込むことに不安がある方でも全然大丈夫です！

その他、小城市の豊富な資源を使った積極的な健康イベントの企画や情報発信も大歓迎です！

「保健師」の資格を取得したが、日々の業務に追われて積極的に動けない、業務の複雑化に体制が追い付いていないなどの課題を感じていませんか。事務負担も多いですね…地域に出向いて、直接会話しながら、“健康づくり”について様々な活動ができる、これまで培った「保健師」としての知識や経験を思い切り発揮できる今回の地域おこし協力隊の活動で、小城市の方々の生活習慣病を予防する活動だけでなく、それぞれが自発的に地域づくりに取り組む仕掛け人になってみませんか？

3：着任後のロードマップ（目安）

健康づくり仕掛け人、その3年間のロードマップを一緒に見ていきましょう。

【1年目：まずは小城を知る。たくさんの人達と話して地域になじもう！】

- ・まずは小城の街を歩いてみましょう。
- ・色んな団体などを訪問し、たくさんの方の皆さんと知り合いになりましょう。
- ・検診などの小城市の事業について知り、職員と一緒に訪問などをして情報収集しましょう。
- ・着任して半年後を目途に健康カフェの開催をスタートしましょう。

【2年目：健康カフェを軌道に乗せよう！】

- ・規模や場所は問いません。色んな場所で色んな人達と健康カフェを週2回程度の頻度で開催しましょう。
- ・健康カフェの認知度向上に務めましょう。
- ・外から見た視点を健康カフェに取り入れてみましょう。

【3年目：自発の健康づくりに繋げよう！】

- ・2年目を踏襲しつつ、健康カフェなどを通じて自発の健康づくりに取り組む人を増やしましょう。
- ・イベント型の健康カフェを年2回程度実施しましょう。

※活動内容として設定する指標を達成している場合、残った時間での定住活動も歓迎しています。

◎どういう働き方になるの？拠点は？

小城市役所のほか、市内4カ所にある保健福祉センターなども拠点として積極的に活用できます。業務に慣れてきたら「毎週木曜日午前中は小城保健福祉センターで健康カフェ開催！」みたいな開催方法もOKです。

【3年の任期を終え卒業した後のイメージ】

▽起業パターン

佐賀での地域おこし協力隊OBOGは、複数の生業を掛け合わせ独立する方が多い傾向です。

- ・週4勤務なので1年目から休みの時間を活用して起業準備が可能。（副業申請OK!）
- ・3年目の独立に向けて担当者と相談しながら定住に向けた活動もしていただけます。
- ・あなたの夢が叶うことを応援したいと考えています。

▽就職パターン

健康カフェで培った繋がりや実績を活かし、企業や市に雇用される可能性もあります。

活動実績がそのまま、県内企業での就活のアピール材料になります。

▽小城市との連携の継続

定住される場合は、保健師として小城市や市民との関係性を保っていただけると幸いです。

【3年間で向上する能力、キャリア】

- ・健康カフェなどを通じた小城市での人脈の広がり。
- ・コミュニケーション能力、対話、調整、交渉力。
- ・情報発信力、表現力。
- ・イベントの企画、運営の経験。など。

4 改めて：こんな方に向いているお仕事です

<こういう人に向いている>

- ・「保健師」としての知識や経験をカタチにしたい人
- ・人とコミュニケーションをとるのが得意な人
- ・好奇心旺盛な人
- ・食文化をはじめとした地域性の違いを発見できる人
- ・小城市が前から気になっていた人
- ・地方暮らしに興味がある人

<必須スキル>

- ◎ 保健師免許
- ◎ PC 操作（オフィスソフト、ウェブサイト更新など）
- ◎ 普通自動車免許
- ◎ 最低限の危機管理能力（市の事業を行っているとした自覚）
- ◎ イベントなど、必要時の土日祝勤務（振替対応はもちろんあり）

<お願いしたいこと>

- ◎ 保健師としての自己研鑽（研修費用などは相談してください）
- ◎ できる範囲での地域イベントなどへの参加

5 海も、山も、平野も。暮らす場所としての小城

佐賀県小城市のいいところ。いくつかあげてみました。たくさんありますが、大事なところを少しだけ。

- ◎ 歴史情緒ある街並み。九州の小京都とも呼ばれる、小さな城下町の佇まいです。
- ◎ やさしい住民性。おもてなしの文化が残り、人にやさしい人たちです。やっぱり人。
- ◎ 山が近い。九州百名山のひとつ、天山がすぐ近く。すぐ山に登れます。
- ◎ 海も近い。日本最大の干潟をもつ有明海にも隣接。珍魚ムツゴロウの保護区があります。

◎空が高い。山と海に挟まれた広大な平野部では、都会にはない空の高さを感じます。
◎都市部が近い。佐賀市街まで 15 分。福岡市街まで 50 分。田舎なのに交通アクセスの便利な地域です。

◎ご飯が美味しい。名物「鯉料理」や「小城羊羹」だけでなく、九州のソウルフードと呼ばれる有名アイスから佐賀牛、海苔、みかん、ブドウ、棚田米、レンコン、アスパラといった農産物まで本当に美味しい食べ物で溢れています。（健康づくりには課題にもなりますが）

丁度いい田舎暮らしを希望される方にお勧めの、おだやかな、自然体の「わたし」と出会える街です。

ぜひ一度、お越しいただいて、ここに暮らす時間を空想していただけたらと思います。

6 とともに働く担当者からの歓迎メッセージ

担当：凌 菜々絵 佐賀県小城市 福祉部 健康福祉課 保健師

「はじめまして！小城市健康福祉課の凌（しのぎ）です。

小城は場所によって全く違う顔があるまちです。それに小城の人は人懐っこい方ばかり！地域おこし協力隊の方には、まずは小城を好きになってもらいたいと思っています。小城の人たち、歴史・食文化に触れて、あなたが知っている、今住んでいる地域との違いや、移住者のあなただからわかる小城市といった“気づき”をどんどん発見して、発信してください！健康福祉課にはあなたを支えてくれる心強いメンバーがたくさん待っています！安心して飛び込んできてくださいね」

7 募集要項

▽雇用関係の有無
あり

▽募集対象

- ①三大都市圏や政令指定都市の都市地域(過疎、山村、半島等の地域に該当しない市町村)から佐賀県内へ、採用日に住民票を移動できる方(特別交付税措置に係る地域要件確認表に準じた要件となります)
- ②地方公務員法第 16 条に規定する一般職員の欠格事項に該当しない方
- ③心身がともに健康で、かつ、誠実に職務を遂行できる方
- ④小城市地域おこし協力隊として委嘱の際に、生活の拠点を小城市に移し、小城市の住民基本台帳に記録されることができる方
- ⑤保健師免許を取得している方
- ⑥普通自動車運転免許を取得している方
- ⑦パソコン操作（ワード、エクセル、パワーポイントなど）ができる方
- ⑧暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第 2 条第 2 号に規定する暴力団のほか反社会的団体又はそれらの構成員に該当しない方

▽身分等

- (1) 身分 小城市会計年度任用職員
- (2) 委嘱期間 令和 8 年 1 月以降に委嘱予定（着任時期は相談できます。）
※隊員としての活動期間は最長 3 年（年度ごとの更新による）

▽募集人数

1名

▽勤務地

・佐賀県小城市役所（デスク）

▽勤務日数

週4日

▽勤務時間

8:30～16:45 または 9:00～17:15（7時間15分の勤務）

▽休日

水（平日1日、変更相談可）土日祝（振替あり）、時間外勤務手当あり

▽副業

可（要届出）

▽貸出（リース）

PC(庁内用)、タブレット(外出用)

▽車

庁用車

▽家

家賃補助5万円まで（月額上限）、敷金礼金補助15万5千円まで（上限）

▽報酬

月額：250,000円

※通勤手当の支給あり

※税、社会保険料、雇用保険料等の本人負担分が、上記金額から差し引かれます。

▽社会保険等

厚生年金、共済保険、雇用保険に加入

▽有給休暇

半年後に7日、翌年度8日、3年目は9日。繰越ありで、最大15日。

▽応募期間

令和7年9月1日(月)～令和7年10月19日(日)

▽オンライン質疑応答会&交流会

令和7年10月9日(木) 20時00分～

開催方法：オンライン（Zoom）

申込み方法：申し込みフォームで申し込んでください。

▽選考

【一次選考】

書類選考の上、可否を文書で通知します。

【二次選考】

一次選考合格者を対象に、2泊3日のおためし地域おこし協力隊に参加いただき、現地（小城市内）で実施します。

<おためし地域おこし協力隊>

日 時：令和7年11月7日（金）～9日（日）（2泊3日）

場 所：小城市役所および小城市内

内 容：（予定）小城市の案内・地域交流会・面接

※二次選考に要する交通費等は個人負担とします。

※宿泊施設は市が手配し、代金の個人負担はありません。

▽応募方法

以下の必要書類をメール又は郵送にて送付ください。

・応募申込書（志望動機 400 字程度をご記入ください。）

・住民票の抄本

・普通自動車運転免許証の写し

※メール提出時のタイトルは、「小城市地域おこし協力隊応募」としてください。

【提出先】

佐賀県小城市 福祉部 健康福祉課

メールの場合 10月19日（日）23：59分締切

（メール送信先：fukushi@city.ogi.lg.jp）

郵送の場合 10月19日（日）必着

（送付先）〒845-8511 佐賀県小城市三日月町長神田 2312 番地 2

小城市役所 福祉部 健康福祉課

▽お問い合わせ先

佐賀県小城市 福祉部 健康福祉課

〒845-8511

佐賀県小城市三日月町長神田 2312 番地 2

電話 ：0952-37-6106

メール：fukushi@city.ogi.lg.jp